

1. ①	11. ④	21. ④	31. ①	41. ②
2. ③	12. ④	22. ③	32. ④	42. ②
3. ④	13. ②	23. ②	33. ①	43. ①
4. ④	14. ③	24. ③	34. ②	44. ②
5. ①	15. ②	25. ③	35. ③	45. ③
6. ①	16. ①	26. ④	36. ③	46. ②
7. ④	17. ②	27. ①	37. ①	47. ②
8. ③	18. ①	28. ②	38. ①	48. ④
9. ①	19. ④	29. ④	39. ②	49. ④
10. ①	20. ①	30. ③	40. ③	50. ①

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **mountain** で、「山」を意味します。日本で最も有名な **mountain** は富士山 (Mt. Fuji) です。他の選択肢は、②**river** が「川」、③**lake** が「湖」、④**sea** が「海」と、それぞれ異なる自然の地形を指す言葉です。地理に関する基本的な単語として、まとめて覚えておくと良いでしょう。

◆補足： **mountain** よりも標高が低く、なだらかな「丘」や「小山」は、**hill** と言います。厳密な区別はありませんが、**mountain** の方がより高く険しいイメージです。山の連なりである「山脈」は **a mountain range** と表現します。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の **bake** です。他の選択肢は、①**boil** が「～をゆでる」、②**fry** が「～を油で炒める・揚げる」、④**burn** が「～を焦がす」で、それぞれ異なる調理法です。料理に関する動詞は、具体的なイメージと結びつけて覚えましょう。

◆補足：パンを焼く人は **baker**、パン屋さんは **bakery** です。**bake** という単語を中心に、**baker**、**bakery** と関連語を広げていくと、効率よく単語を覚えられますね。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「薬を飲む」です。take (a) medicine は、「薬を服用する」という意味で使われる決まった言い方です。日本語では「飲む」と言うので drink を使いそうになりますが、英語では take を使うのが一般的です。You need to take this medicine three times a day. (あなたはこの薬を 1 日に 3 回飲む必要があります) のように使います。①は make medicine、②は buy medicine、③は prescribe medicine が近い表現です。

◆補足：take は「(体の中に) 取り込む」という広い意味を持っています。そのため、薬だけでなく take a pill (錠剤を飲む) や take vitamins (ビタミン剤を飲む)、take a deep breath (深呼吸をする) のように、様々な場面で使われます。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「電子書籍」です。e-book は electronic book の略で、スマートフォンやタブレット、専用のリーダーなどで読むデジタル形式の本のことです。E-books are convenient because you can carry many of them on one device. (電子書籍は一つの端末でたくさん持ち運べるので便利です) のように使います。①「絵本」は picture book、②「交換日記」は exchange diary、③「教科書」は textbook です。

◆補足：e-は electronic (電子の) の略で、e-mail (電子メール) が最もよく知られていますね。他にも e-commerce (電子商取引) や e-money (電子マネー) など、様々な言葉で使われています。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を身につける」です。He quickly put on his jacket and went out. (彼は素早く上着を着て外出した) のように使います。②「～を脱ぐ」は take off ～、③「～を試着する」は try on ～、④「～を置く」は put down ～です。

◆補足：「身につける」という動作を表す put on に対し、身につけている「状態」を表すときは wear という動詞を使います。He is wearing a nice hat. (彼は素敵な帽子をかぶっている)。この二つの使い分けは、テストでも頻繁に問われる重要ポイントです。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「まじめな、深刻な」です。serious は、人の態度が「本気である、まじめである」ことや、問題や病気などが「深刻である、重大である」ことの、二つの主な意味合いで使われる形容詞です。This is a serious matter. (これは深刻な問題です) のように使います。②「静かな」は quiet、③「親切な」は kind、④「賢い」は wise や smart です。

◆補足：会話の中で相手に Are you serious? と尋ねると、「本気で言ってるの?」「うそでしょ?」といった、驚きや疑いを表す決まり文句になります。映画やドラマでもよく聞くフレーズですよ。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「棒、さお、柱」です。旗を掲げるための flag pole (旗ざお) や、電線を支える telephone pole (電柱) などが身近な例です。①「板」は board、②「管」は pipe、③「網」は net がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：pole には、全く違う意味として「(地球や磁石の) 極」もあります。the North Pole (北極) や the South Pole (南極) のように使われます。このように、一つの単語が複数の意味を持つことは多いので、文脈で判断する力を養いましょう。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③の hiking です。他の選択肢は、①walking が「歩くこと」、②running が「走ること」、④camping が「キャンプ」と、それぞれ異なるアクティビティを指します。

◆補足：「ハイキングに行く」は go hiking と表現します。これは go shopping (買い物に行く) や go fishing (釣りに行く) などと同じ go -ing (～しに行く) のパターンです。We are going to go hiking this weekend. (私たちは今週末、ハイキングに行く予定です)。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「自然に、生まれつき」です。naturally は、人の手を加えなくても、あるいは意識しなくても、物事がそのようになる様子を表す副詞です。She is naturally good at sports. (彼女は生まれつきスポーツが得意だ) のように使います。②「全国的に」は nationally、③「特に」は especially、④「注意深く」は carefully がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：naturally は、形容詞の natural（自然の）に -ly が付いてできた副詞です。nature（自然）→natural（自然な）→naturally（自然に）という単語のファミリーをまとめて覚えると、語彙力がアップしますよ。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①の use です。May I use your pen?（あなたのペンを使ってもいいですか？）のように使います。②have は「～を持っている」、③make は「～を作る」、④need は「～を必要とする」という意味です。

◆補足：use は名詞としても使われ、その場合は「使用、利用」という意味になります。ただし、発音が動詞の「ユーズ」とは異なり、「ユース」と濁らない音になるので注意が必要です。the use of smartphones（スマートフォンの使用）。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④の useful です。A smartphone is a very useful tool.（スマートフォンはとても便利な道具だ）のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①useless は useful の反対で「役に立たない」。②used は「使われた、中古の」。③easy は「簡単な」という意味です。

◆補足：useful は、名詞の use（使用、役立つこと）に、full（～に満ちた）が組み合わさってできています。「使い道でいっぱい」とイメージすると意味を捉えやすいですね。

12.

解答 ④

【解説】

正解は④「自然の、生まれつきの」です。natural は、人の手が加わっていない、ありのままの状態を表す形容詞です。また、努力して身につけたものではなく、もともと持っている才能や性質を指して「天性の」という意味でも使われます。It is natural for children to ask questions.（子供が質問するのは自然なことだ）のように使います。①「普通の」は normal や ordinary、②「特別な」は special、③「国の」は national です。

◆補足：natural は、名詞の nature（自然）から派生した言葉です。また、副詞形は naturally（自然に、生まれつき）となります。nature → natural → naturally という単語のファミリーを意識すると、語彙を効率的に増やせます。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②の **it takes A to do** で、「～するのに A（時間）がかかる」と、ある行動に必要な時間を説明する構文です。主語の **it** は時間などを表す形式的な主語で、特に訳しません。A の部分には **two hours**（2 時間）や **a long time**（長い時間）などの時間が入ります。**It takes ten minutes to walk to the station.**（駅まで歩いて 10 分かかります）のように使います。①は費用、③は難易度、④は必要性を表す文です。

◆補足：A の部分に人を表す言葉を入れることもできます。**It takes me an hour to finish my homework.**（私が宿題を終えるのに 1 時間かかる）のように、**takes** の直後に **me** や **him**などを置くことで、「誰が」その時間を要するのかを明確にできます。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③の **protect** です。**This cream protects your skin from the sun.**（このクリームはあなたの肌を太陽から守ります）のように使います。①**prevent** は「～を防ぐ」、②**provide** は「～を供給する」、④**promise** は「～を約束する」という意味です。

◆補足：**protect** の名詞形は **protection**（保護）です。**for your protection**（安全のために）のような形で注意書きなどで見かけることがあります。動詞と名詞をセットで覚えるように心がけましょう。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「イギリス」です。**UK** は **the United Kingdom** の略称です。**United** は「連合した」、**Kingdom** は「王国」を意味し、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの 4 つの国から成る連合国家であることを示しています。①「アメリカ合衆国」は **the USA**、③「アラブ首長国連邦」は **the UAE** と略されます。④**Australia** は略称ではありません。

◆補足：イギリスを指す言葉は他にもあり、**Great Britain** や単に **Britain** と呼ばれることもあります。首都はロンドン（**London**）ですね。世界の主要な国の英語名と、その略称を知っておくとニュースなどを理解するのに役立ちます。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①の inside です。It started to rain, so we went inside the house. (雨が降り始めたので、私たちは家の中に入った) のように使います。②outside は「～の外に」で inside の反対語、③beside は「～のそばに」、④under は「～の下に」という意味です。

◆補足：inside は「内部に」という副詞や、「内部の」という形容詞としても使うことができます。

What's on the inside? (内側には何があるの?) のように、文脈によって働きが変わる便利な単語です。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の try on ～です。You can try on the shoes in front of the mirror. (鏡の前でその靴を試着できますよ) のように使います。①put on ～は「～を身につける」、③turn on ～は「(スイッチ)を入れる」、④try out ～は機能などを「試してみる」という意味です。

◆補足：try (試す) と on (身につけて) が組み合わさって「試着する」という意味になっていると考えると、覚えやすいですね。お店で「試着してもいいですか?」と尋ねるなら Can I try this on? と言うことができます。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「農場、農園」です。I worked on a farm during the summer vacation. (私は夏休みの間、農場で働いた) のように使います。②「工場」は factory、③「庭園」は garden、④「牧草地」は pasture などがそれぞれ適切な単語です。

◆補足：farm で働く人は farmer (農家、農業経営者)、そこで作られる農産物は farm products と呼ばれます。また、動詞として farm は「農業を営む」という意味になります。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④の energy です。「After a good sleep, I'm full of energy. (よく眠ったので、元気いっぱいです) のように使います。①power は「力、能力、電力」、②force は「(物理的な) 力」、③feeling は「感情」という意味です。

◆補足：energy の形容詞形は energetic（エネルギッシュな、精力的な）です。He is an energetic person.（彼はエネルギッシュな人だ）。また、環境問題に関連して solar energy（太陽エネルギー）や energy saving（省エネ）といった言葉もよく使われます。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「1日に1回」です。once が「1回」、a day が「1日につき」を意味します。I walk my dog once a day.（私は1日に1回、犬の散歩をします）のように使います。②「毎日」は every day、③「1日中」は all day、④「ある日」は過去や未来の不特定の日を指す one day です。これらの表現は意味が似ているので、混同しないように注意しましょう。

◆補足：once（1回）の部分をつice（2回）や three times（3回）に、day の部分を week（週）、month（月）、year（年）に変えることで、様々な頻度を表現できます。例えば、twice a week（週に2回）や three times a month（月に3回）などです。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「～と異なっている、～と違う」です。be different from ～は、二つの物事を比較して、違いがあることを述べるための基本的な表現です。Japanese culture is very different from American culture.（日本の文化はアメリカの文化と大きく異なっている）のように使います。①は be similar to ～、②は come from ～、③「～と同じである」は be the same as ～です。

◆補足：different の名詞形は difference（違い、相違点）です。形容詞と名詞をセットで覚えるのは語彙を増やす良い方法です。また、アメリカ英語では different than、イギリス英語では different to が使われることもありますが、最も一般的に使われるのは different from です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「インターネット」です。そのため、通常は文頭でなくても I を大文字で書きます。

①computer、②website、④e-mail はいずれもインターネットに関連する言葉ですが、インターネットそのものではありません。

◆補足：「インターネットで」何かをすることを表すときは、前置詞の on を使います。You can buy almost anything on the Internet.（インターネットではほとんど何でも買うことができる）。surf the Internet（インターネットを見て回る）という表現もよく使われます。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②の **rock** で、大きくて動かせないような「岩、岩石」を指します。stone も「石」と訳しますが、こちらは手で持てるくらいの、比較的小さな石を指すことが多いです。The house was built on a huge rock. (その家は巨大な岩の上に建てられた) のように使います。①sand は「砂」、③soil は「土、土壌」です。

◆補足：音楽のジャンルである「ロック」も **rock** ですが、これは **rock and roll** (揺れて転がる) という言葉から来ています。また、動詞としては「～を揺らす」という意味があります。Don't rock the boat. (ボートを揺らすな)。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③の **cross** で、「～を横切る、渡る」という意味の動詞です。You should look both ways before you cross the street. (道を渡る前には左右両方を見るべきです) のように使います。①close は「～を閉じる」、②crash は「衝突する」、④walk は「歩く」という動作そのものを指します。

◆補足：名詞の **cross** は「十字架、十字」を意味し、Red Cross (赤十字) などで知られています。また、crossing や crosswalk は「横断歩道」を意味します。動詞の **cross** と関連付けて覚えましょう。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の **full** で、「いっぱい、満ちた」という意味の形容詞です。容器が満たされている状態だけでなく、「おなかがいっぱいの」という意味でも非常によく使われます。No more for me, thank you. I'm full. (もう結構です、ありがとう。おなかいっぱいです) は食事の場面で便利な表現です。他の選択肢は、①few が「(数が) ほとんどない」、②free が「自由な、空いている」、④empty が「空の」という意味で、full の反対語です。

◆補足：前の問題に出てきた **be full of** ～ (～でいっぱいである) は、この **full** を使った重要な熟語です。また、ガソリンスタンドで「満タンにしてください」と頼む時は Fill it up, please. と言いますが、この **fill** は **full** の動詞形で、「～を満たす」という意味です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④の person です。単数形で使います。他の選択肢を見てみましょう。①people は person の複数形で「人々」を意味します。②human は「(動物などと対比した) 人間」という、種としてのニュアンスが強い言葉です。③someone は「誰か」という不特定の人物を指します。

◆補足：person の複数形が people であるという点は非常に重要です。one person (一人)、two people (二人)、many people (多くの人々) のように使います。基本的に persons という形は使いませんが、法律の条文など、非常に改まった場面で「～名様」というニュアンスで使われることがあります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「強い、じょうぶな」です。This box is strong enough to sit on. (この箱は座れるくらいじょうぶだ) のように使います。②「弱い」は weak で、strong の反対語です。③「長い」は long、④「重い」は heavy です。

◆補足：strong は、コーヒーの味が「濃い」、風が「強い」、意志が「固い」など、比喩的にも広く使われます。She has a strong will. (彼女は強い意志を持っている)。名詞形は strength (強さ) です。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②の medicine で、病気やけがを治すための「薬」や、学問としての「医学」を意味します。The doctor gave me some medicine for my cold. (医者は私に風邪薬をくれた) のように使います。①science は「科学」、③poison は「毒」、④vitamin は「ビタミン」です。

◆補足：medicine は数えられる名詞としても数えられない名詞としても使われます。いろいろな種類の薬を指すときは medicines と複数形になりますが、単に「薬」という場合は some medicine のように数えられない名詞として扱うことが多いです。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の look like ～です。That cloud looks like a ship. (あの雲は船のように見えます) のように、視覚的な印象を伝えるときに使います。①sound like ～は「～のように聞こえる」、②feel like ～は「～のような気がする」、③seem like ～は「～のように思われる」という意味です。

◆補足：look like の後ろには名詞（a ship など）が来ますが、You look happy.（あなたは幸せそうに見えます）のように、後ろに形容詞が来るときは like は不要です。この使い分けはとても重要なので、しっかりマスターしましょう。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③の mysterious です。正体や理由がよく分からず、好奇心をかき立てられるような物事に対して使います。There was a mysterious light in the sky.（空に不思議な光があった）のように使います。①famous は「有名な」、②serious は「まじめな、深刻な」、④dangerous は「危険な」という意味です。

◆補足：mysterious は、名詞の mystery（謎、ミステリー）の形容詞形です。The police are trying to solve the mystery.（警察はその謎を解こうとしている）。mystery と mysterious をセットで覚えるのがおすすめです。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「丘、小山」です。Our school stands on a small hill.（私たちの学校は小さな丘の上に建っています）のように使います。②「谷」は valley、③「崖」は cliff、④「洞窟」は cave がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：hill と mountain の区別は感覚的なものですが、一般的には、頂上まで歩いて簡単に登れるようなものが hill、登るのにある程度の装備や体力が必要なものが mountain というイメージです。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の British で、「イギリスの」または「イギリス人」を意味する形容詞・名詞です。前の問題で出てきた the UK の形容詞形ですね。The British Museum is very famous.（大英博物館はとても有名です）のように使います。①English は主に「イングランドの」や「英語」を指し、British よりも狭い範囲を表します。②American は「アメリカの」、③French は「フランスの」です。

◆補足：the を付けて the British とすると、「イギリス国民」全体を表します。また、イギリスで話されている英語は British English と呼ばれ、アメリカ英語（American English）とは単語や発音にいくつか違いがあります。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を解決する、解く」です。She was able to solve the difficult puzzle. (彼女はその難しいパズルを解くことができた) のように使います。②「～を尋ねる」は ask、③「～を説明する」は explain、④「～を証明する」は prove です。

◆補足：solve の名詞形は solution (解決策、解答) です。There is no easy solution to this problem. (この問題に簡単な解決策はない)。動詞と名詞をセットで覚えることは、語彙力を高めるのに非常に効果的です。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②の textbook です。text (本文) と book (本) が組み合わさった単語です。Please open your textbook to page 20. (教科書の 20 ページを開いてください) のように使います。他の選択肢は、①notebook が (書き込むための)「ノート」、③comic book が「漫画本」、④guidebook が「旅行案内書」です。

◆補足：textbook は、比喩的に「お手本、典型」という意味で使われることもあります。His life is a textbook case of success. (彼の人生は成功の典型的なケースだ) のように使われますが、まずは基本的な「教科書」の意味を覚えましょう。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③の bitter です。I don't like bitter coffee. (私は苦いコーヒーが好きではありません) のように使います。他の選択肢は、①better (より良い)、②butter (バター)、④bottle (びん) と、つづりや発音が少し似ていますが、意味は全く異なります。

◆補足：bitter は味だけでなく、経験や感情が「つらい、痛ましい」ことや、寒さが「厳しい」ことを表すのにも使われます。例えば、a bitter memory (つらい記憶) や a bitter wind (身を切るような冷たい風) のように、比喩的に使われることも多いです。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「穴」です。The mouse ran into a hole in the wall. (そのネズミは壁の穴に走り込んだ) のように使います。①「点」は dot や point、②「線」は line、④「角」は corner がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：hole と whole (全体の) は、発音が全く同じでスペルが似ているため、混同しやすい単語です。I ate the whole pizza. (私はピザを全部食べた)。文脈でどちらの意味かを判断することが大切になります。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「肩」です。shoulder は、首の付け根から腕の上部にかけての部分指します。My shoulders feel stiff. (肩が凝っています) のように使います。②「ひじ」は elbow、③「ひざ」は knee、④「首」は neck です。体の部分を表す単語は、実際に自分の体を指しながら覚えると記憶に残りやすいですよ。

◆補足：肩は左右に一つずつあるので、shoulders と複数形で使われることがよくあります。「肩をすくめる」というジェスチャーは shrug one's shoulders と言います。また、shoulder bag (ショルダーバッグ) のように、他の単語と組み合わせることも多いです。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「～する時間です」です。it is time to do は、何かをするべき時刻になったことを伝えるための定番の表現です。主語の it は特に意味を持たない形式的な主語です。It is time to start our class. (授業を始める時間です) のように使います。②は it is necessary to do、③は it is easy to do、④は I like to do などが適切な表現です。

◆補足：It is time for 名詞という形で「～の時間です」と表現することもできます。例えば、It's time for lunch. (昼食の時間です) のように使います。後ろに to + 動詞が来るか、for + 名詞が来るか、という形の使い分けに注意しましょう。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の be made from ～で、製品が元の形をとどめない「原料」から作られていることを示します。例えば、Cheese is made from milk. (チーズは牛乳から作られる) のように、牛乳が加工されて

チーズになる場合に使います。①be made of ～は、机が木でできているように、見た目で「材料」が分かる場合に使います。③be made in ～は「～製である」と作られた場所、④be filled with ～は「～で満たされている」という意味です。

◆補足：be made from ～と be made of ～の使い分けはテストでもよく問われます。「from はfrom 変化」のように、元の形から変化してしまったら from、と覚えるのも一つの方法です。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「韓国」です。South Korea は、大韓民国の英語での正式な通称です。South が「南」を意味します。Seoul is the capital of South Korea. (ソウルは韓国の首都です) のように使います。①「北朝鮮」は North Korea、②「中国」は China、④「台湾」は Taiwan がそれぞれ対応する英語名です。

◆補足：「韓国の」、「韓国人」、「韓国語」は形容詞・名詞の Korean を使います。I love Korean dramas. (私は韓国ドラマが大好きです)。South (南) の反対は North (北) なので、North Korea (北朝鮮) とセットで覚えると良いでしょう。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②の cell phone です。特にアメリカ英語でよく使われます。他の選択肢を見てみましょう。

①telephone は固定電話も含めた「電話」全般を指します。③smart phone は高機能な「スマートフォン」で、cell phone の一種です。④mobile phone も「携帯電話」を意味しますが、こちらは主にイギリス英語で使われる表現です。

◆補足：cell には「細胞」という意味の他に、携帯電話の通信網を構成する「基地局のエリア」という意味があります。cell phone という名前は、この通信の仕組みに由来しています。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「規則的な、ふつうの」です。regular は、決まったパターンや間隔で繰り返されること、または特別ではなく標準的であることを表す形容詞です。Taking regular exercise is important. (規則的な運動をすることは重要です) のように使います。①「特別な」は special、③「不規則な」は irregular で、regular の反対語です。④「人気のある」は popular です。

◆補足：副詞形の regularly は「規則的に、定期的に」という意味で非常によく使われます。You should brush your teeth regularly. (あなたは定期的に歯を磨くべきです)。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「～で覆われている」です。be covered with ～は、何かの表面全体が、雪や葉、ほこりなどで覆いつくされている状態を表す熟語です。The mountains are covered with snow in winter. (冬にはその山々は雪で覆われる) のように使います。②は be filled with ～、③は be made from/of ～、④は be known for ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：この表現は、前の問題の動詞 cover (～を覆う) の受け身の形です。Snow covers the mountains. (雪が山々を覆う) という文を、山を主語にして言い換えたものが The mountains are covered with snow. となります。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の glove で、「手袋」を意味します。特に、指が一本一本分かれているタイプのものを指します。野球の「グローブ」もこの glove ですね。他の選択肢は、①sock が「靴下」、③scarf が「スカーフ、マフラー」、④hat が「帽子」と、それぞれ別の服飾品を指します。

◆補足：手袋はふつう両手にはめるので、a pair of gloves (一組の手袋) と言ったり、複数形の gloves の形で使われたりすることがほとんどです。I bought new gloves for skiing. (私はスキー用に新しい手袋を買った)。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③の safely です。副詞です。The cat climbed down the tree safely. (その猫は安全に木から下りてきた) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①safe は「安全な」という形容詞、②safety は「安全」という名詞、④save は「～を救う」という動詞です。

◆補足：safe (形容詞)、safely (副詞)、safety (名詞) のように、同じ語源を持つ単語が品詞によって形を変える例はたくさんあります。それぞれの単語の働き (品詞) を意識することで、より正確な英文が作れるようになります。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②の leg で、「あし」を意味します。人や動物の体の一部だけでなく、机やいすの脚の部分も leg と呼びます。他の選択肢は、①arm が「腕」、③head が「頭」、④hand が「手」と、それぞれ体の異なる部分を指します。

◆補足：日本語では「あし」というと足首から下の部分も含むことがありますが、英語では leg（太ももから足首まで）と foot（足首から先）を区別します。My legs are tired from walking.（歩いて脚が疲れた）のように使います。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「～のように聞こえる」です。sound like ～は、聞こえてくる音や、話の内容から受けた印象が「～のようだ」と述べるときに使います。Your plan sounds like fun.（あなたの計画は楽しそうですね）のように、相手の話への相づちとしても頻繁に使われます。①は look like ～、③は taste like ～、④は smell like ～で、それぞれ五感の異なる働きを表します。

◆補足：look, sound, smell, taste, feel などの五感を表す動詞は、後ろに like を伴うと名詞が、like がないと形容詞が続くのが基本ルールです。It sounds difficult.（それは難しそうですね）との違いも理解しておきましょう。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の usual です。I met him at the usual place.（私はいつもの場所で彼に会った）のように使います。①special は「特別な」で、usual とは反対のニュアンスを持ちます。②same は「同じ」、③useful は「役に立つ」という意味です。

◆補足：as usual という形で「いつも通り」という副詞句として非常によく使われます。She came to school late as usual.（彼女はいつも通り学校に遅刻してきた）。副詞の usually（たいてい、ふつう）も頻度を表す重要な単語なので、合わせて覚えておきましょう。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④の in the middle of ～で、「～の真ん中に、～の最中に」という意味です。場所的な中央だけでなく、時間的な「真っ最中」を表すこともできる便利な表現です。There is a beautiful fountain in the middle of the park.（公園の真ん中に美しい噴水がある）。He is in the middle of an important

meeting. (彼は重要な会議の最中です)。①は「～の前に」、②は「～にもかかわらず」、③は「～の代わりに」という意味です。

◆補足：middle は「中央、真ん中」を意味する名詞です。middle school (中学校) や the Middle East (中東) のように、他の単語と組み合わさって使われることも多いです。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「～で満たされている」です。be filled with ～は、容器や場所が物や人でいっぱいになっている状態を表します。動詞 fill (～を満たす) が受け身の形で使われています。Her eyes were filled with tears. (彼女の目は涙でいっぱいだった) のように使います。②は be made of/from ～、③は be covered with ～、④は be known for ～がそれぞれ近い表現です。

◆補足：この表現は、be full of ～とほぼ同じ意味で、書き換えが可能です。例えば、The box is filled with apples. と The box is full of apples. はどちらも「その箱はリンゴでいっぱいです」という意味になります。両方とも重要な表現なので、セットで覚えておきましょう。
